

2009年3月9日

第14回科学技術交流フォーラム

# サービスイノベーション

## 東京大学憲章-学術第九項

(研究成果の社会還元)

東京大学は、研究成果を社会に還元するについて、成果を短絡的に求めるのではなく、永続的、普遍的な学術の体系化に繋げることを目指し、また、社会と連携する研究を基礎研究に反映させる。東京大学は、教育を通じて研究成果を社会に還元するため、最先端の研究成果を教育に活かすとともに、これによって次の世代の研究者を育成する。

平成15年3月18日

東京大学産学連携本部

産学連携研究推進部長・教授 太田与洋



東京大学研究者・産業界の提案

課題：サービス産業  
GDPの7割  
生産性：米国の60%

課題は認識されているが、  
ニーズもシーズも必ずしも明確でない  
分野で如何に産学連携により  
イノベーションを創出するか

→研究会方式

政策提言

プロジェクト提案、応募

共同研究

本格コンソーシアム

社会・産業界へインパクトのある貢献

## UCRコミュニティ「サービス・イノベーション」

- 場：東京大学と産業界の方々のルツボ（melting pot）
  - 知の交流→知の普及・開示・貢献・交感から新着想
  - 一定のメンバー間で理解を深め、具体策を立案
  
- UCRコミュニティ
  - サービスビジネスにおいて課題を有する法人メンバーと東京大学教員の集まり。
  - UCRサービスイノベーション研究会の成果である要素技術データベースを共有し、
  - 年1回定期的に開催される産学意見交換の場への参加と、イベント発生時に担当教員との間や他法人メンバーとの間の意見交換の場。

## UCRコミュニティ「サービス・イノベーション」

### □ 参加企業へ期待する貢献と得られるメリット

- 参加企業へ期待する貢献
  - ✓ 一意見交換の場で意見を発すること
- 参加企業が得られるメリット
  - ✓ 最新研究成果に触れる機会が得られること
  - ✓ サービス課題解決のヒントが得られること

### □ 参加料

- 無料

### □ 参加申し込み

- ご興味がある方はアンケートの5項、6項へご記入ください。